

今回は16人が行い当局の考え方を質問しました。FMいずのくに(87.7MHz)で生放送し、インターネットによる生中継の映像配信を行いました。

神島橋右岸に公園を整備する「かわまちづくり計画」は凍結も視野に再検討を



三好陽子



問 国土交通省の財政支援を受け、令和5年度からの利用開始を目指して整備が進められているが、整備に掛かる市の負担額と維持管理費は。

答 公園施設整備費は7300万円です。民間事業者が10%、残る90%の2分の1が国の社会資本整備総合交付金で、市の負担は3300万円ほど。市が直接施工するオフロードコース整備・水道管整備等を含め、最終的な市の負担額は5800万円程度。維持管理費は指定管理者制度を導入予定で、現在管理している堤防部分の草刈り業務を含め2千万円程度を想定している。

問 台風等による水害復旧への対応は。

答 洪水被害で土砂等が堆積した場合、は災害区域外の復旧は市が行う。氾濫注意水位を超えるなどの場合は、国の補助を受けて行うことを想定している。

問 コロナ禍でどれだけの利用が見込めるか、市の財政状況から今一度立ち止まって再検討すべきではないか。

答 アウトドアスポーツやレジャーは

人気が高まっている。「市かわまちづくり協議会」からも歴史・温泉に加え新たな魅力として期待できるとの提言もあり、計画通り進めていく。



かわまちづくり計画予定地(神島橋付近)

有害鳥獣対策はわなによる捕獲の普及を

問 市内猟友会の会員が高齢化していると聞く。猟友会への捕獲依頼とともに、農業者やJAなどと連携して、わなによる捕獲の普及を進めてはどうか。

答 猟友会には猟銃での駆除のほか、箱わな・くくりわなの捕獲。農業者にはハクビシン等中型獣用の箱わなを市が貸し出し。JAとは電気柵設置講習会などを共同で実施。周辺の状況によって向き不向きがあるので、猟銃とわなを適切に使用すべきと考えている。

令和4年度予算編成方針について



天野佐代里



問 先が見えない不安な時代だからこそ、仕事をつくり経済を循環させる公共投資で未来に希望が持てる施策が必要だと考える。特に、少子化対策として若者の定着・流出防止のため、高校卒業後の自宅通学生の通学交通費補助や、二世代に渡り事業継承している若者に対する支援が必要では。

答 現在、各部局からの要求を取りまとめた段階であり確定していない。どのように措置していくかはこれからしっかりと考えていきたい。

問 安全安心の施策として通学路の安全確保と住宅のかさ上げに対する補助を。

答 車道と歩行空間を明確にするためのグリーンベルトやタイヤの摩擦で音が鳴るリブ式外側線などを整備することで通行車両の注意喚起を行っている。横断歩道がある交差点では警察と協議しながら外側線の位置変更やラバーポールの設置などで対応している。

災害対策に対する補助等、これらを総合的に捉えた上で制度を検討する必要があるものと考えている。

要があるものと考えている。

オリンピック・パラリンピックのレガシーで市内の活性化を

問 狩野川の景観を活用した回遊できる自転車道路の整備と、旧日通富士見道路の県道格上げについては。

答 狩野川ツーリズムネットワーク会議で、沼津港から道の駅天城越えを結ぶ狩野川流域をサイクリングできるモデルコースを設定したが、未整備箇所があり、本市などで構成する狩野川周辺サイクル事業推進協議会から、国土交通省に対し未整備箇所の調査の実施について提案したい。旧日通富士見道路の県道格上げは厳しい。



旧日通富士見道路(葦山山木)登り口

問 柔道を軸としたモンゴル国との国際交流の今後は。

答 関係団体と協議の上、市としてできる範囲で交流を続けたい。ソングノハイルハン区との交流については、過去の経緯もしっかりと踏まえながら何が一番いいのかということをしつかり検討してまいりたい。

庁舎の建て替えについて



古屋 鋭治



問 ①市長は、3カ所に分散している庁舎の問題点をどのように認識しているのか。②また、1カ所に集約するののか、長岡庁舎の増築か、それ以外か。

答 ①分散の問題点は、庁舎をまたいでの手続きは市民にとって利便性が悪く、サービスの低下につながる。職員は庁舎間の移動に時間がかかる。②市長在任中は、機能集約のための新庁舎建設は考えていない。増築に関しては、人口減少やITの進展など、行政を取り巻く環境変化や市民意見の多様化、適切な庁舎規模等を見定めるには不確定要素が多い。今後、市民の意見を踏まえ、庁内にプロジェクトチームを立ち上げて結論を出したい。

市民憲章の策定について

問 市民憲章は、合併以降策定されていない。市政20周年（令和6年）を機に策定してはどうか。

答 市民憲章は、全国の790市のうち策定は684市で86・6%の制定率

である。市民がまちを愛し、よりよいまちにしていこうと行動するための規範として市民憲章の必要性を感じている。他市の事例を参考にしながら準備を進めていきたい。市政20周年に間に合うようにやっていきたい。

選挙投票率の向上について

問 当市の投票率は、合併以降減少傾向である。特に県会議員選挙、当市長・市議会議員選挙は合併時以降18ポイント減少している。投票率向上のためにどう取り組むのか。小中学生に、行政に関心を持ってもらうため「子ども議会の開催」を検討してはどうか。

答 当市の投票率は、合併以降おむね前回投票率を下回っている。選挙管理委員会は、若年層の政治に対する関心の薄れが低下につながっていると認識している。来年度以降の投票率向上については、他市町を参考に取り組みを検討していく。子ども議会開催は一案かもしれないが児童会、生徒会は校内における社会参加ともいえるものであり、これらを通じ主権者教育を行っていく。



「FMいずのくに」の存続、あり方について



田中正男



問 「FMいずのくに」は平成25年の開局以来難聴地域があり解消されていない。アンテナ対策はどうするのか。

答 送信所のアンテナ改修の来年度実施に向けて検討を進めている。

問 市は令和元年度から2年間経営改善のための支援を行ったが、2年度の決算では実質赤字で経営改善できたと言いがたい状況。今後の「FMいずのくに」の存続・在り方についてどう考えるか。

答 今後、「FMいずのくに」の在り方について再考が必要と考えている。



「FMいずのくに」のスタジオ

使用不可となる防災ラジオに代わる対策としてメール普及を

問 防災ラジオが使用できなくなると聞くと内容は。また、情報発信手段として市民のメール登録促進を。

答 長岡地区の発信機器が無線通信規則により、令和4年12月1日から使用できなくなる予定だったが、コロナ禍の影響により、使用期限が当面の間延長された。また、eメールやLINEへの登録を積極的に市民にお願いしていきたいと考えている。

火の見櫓の管理と不要な櫓は撤去を

問 市内には火の見櫓が相当数あるが、消防団も統廃合され分団の数も減り、火の見櫓が不要となっている所が増えると考え。計画的に撤去すべきではないか。また、どこ火の見櫓も相当の年数が経過していて、地震により倒れる危険性もある。耐震の調査や補強はされているのか。

答 不要になれば地区と協議して市が責任を持って解体撤去する。耐震調査や補強については実施していないが、さび防止のための塗装の塗り替え等の管理は行っている。

公共施設再配置計画の

進捗状況について



鈴木俊治



問 公共施設再配置計画(以下「計画」)の進捗状況は。

答 30年間で公共施設の総延べ床面積を約4万4千平方メートル削減する方針。令和2年度末までに10施設、延べ床面積約4200平方メートルの減少、達成率は9.7%。

問 計画では、長岡総合会館、葦山時代劇場、大仁市民会館を一つに統合している。一方、市長は葦山時代劇場を存続と発言している。大仁市民会館は既に取壊し済みなので、葦山時代劇場を残して長岡総合会館は取壊すのか。

答 必ずしも葦山時代劇場一つに絞っていくわけではない。慎重に検討する。

問 計画では、やすらぎの家、水晶苑、高齢者温泉交流館を機能統合して一つにするとしているが、利用する高齢者は、年を追うごとに行動範囲が狭くなり、遠くまで行けない方が多い。今ある施設を現状のまま活用する方が高齢者のためになると思う。市の見解は。

答 その通りだと思う。議員の発言を

よく踏まえて考えていく。

問 現在のし尿処理場や清掃センター等は、新施設完成後どのようになるか。

答 長岡し尿処理場は、令和4年2月に受入れ停止予定。跡地利用等は未定。

長岡清掃センター、葦山のリサイクルプラザ、大仁の清掃センター、それぞれ搬入ごみの受付として活用していく。



長岡清掃センター

自治体のデジタルトランスフォーメーション(DX)推進について

問 自治体DXの意義と課題は。

答 デジタル技術を活用し市民の利便性を向上させ、役所業務の効率化を図る。課題は、デジタル人材の育成確保。

問 DXの推進状況は。

答 窓口のオンライン化の実証実験や会議のペーパーレス化の取組を開始。令和3年9月に市DX推進本部を設置。

問 直接市民が受ける利便性は何か。

答 窓口のデジタル化、オンラインが実現すると、証明書発行等の申請は、24時間365日、自宅等から可能となる。

観光振興について



柴田三敏



問 ワークেশョン施設整備に対する市の支援策を講ずる考えは。

答 ワークেশョンの導入は新しい生活様式に対応した観光誘客事業として平日の連泊等により客室稼働率の向上につながるのと同時に、当市の魅力発信や関係人口、交流人口の増加にも資すると考えている。

静岡県の観光地ワークেশョン受入れ環境整備促進事業費補助金を活用し、WiFi環境の整備やワークスペースの改修、製品購入などへの支援を検討している。

源氏山の活用について

問 ①源氏山南側(順天堂側)の整備

の状況と今後のビジョンについては。

②富士山の眺望を楽しむ場として、山頂を含めた全体の整備計画を策定しては。

答 ①源氏山南側の県道伊豆長岡三津線は、歩道拡幅等の安全対策工事を県が実施するに当たり、県道沿いに立地

する店舗棟は立ち退きが予定されている。

市は、これを機会に急傾斜地対策を実施し、のり面の土砂崩壊崩落により、遮断されている公園の遊歩道の復旧を図り、歩道と急傾斜の間に発生する空き地をポケットパークとして整備して有効活用を図る計画をしている。

②一般社団法人伊豆長岡温泉エリアマネジメントが、令和3年3月に伊豆長岡温泉未来ビジョンを策定した。これを基に取り組みを進めており、市がこれを支援していくことで整備計画を考えている。

空き家対策について

問 平成30年に空き家対策計画を定め対策を進めているが、成果と課題は。

答 取り組みの中で大きな成果としては、長年懸案事項の南條地区の特定空き家除却に関し、行政代執行の措置を11月30日に着手できたこと。

今後、所有者から代執行に要した費用を必ずしも回収できるとは限らず、その場合でも措置を講ずるのか、公費負担の課題がある。



特定空き家

一般質問

議員の氏名の下にQRコードを掲載しました。一般質問の録画映像をスマートフォン・タブレットなどでご覧いただけます。